

市民公益活動を支援します！

CNS Suita

市民ネットすいた Civil Network Suita

ニュース

No.9

発行日 2013(平成25)年12月1日

発行所 NPO法人市民ネットすいた
(吹田市立市民公益活動センター指定管理者)

施設使用料に係る減免基準 統一化についての報告

本年5月の市民ネットすいた総会において質問のありました「施設使用料減免制度改正」について、CNSニュースNo. 8にて一部掲載しましたが、CNSから吹田市への質問状に対して、8月20日、吹田市行政経営部企画政策室長より、書面にて回答を受け、さらに、9月4日、不明瞭な点について、企画政策室および地域自治推進室と面談した結果をお知らせします。

「受益者負担の原則」の例外として、限定的に適用するという観点から見直しをしたと言う基本的な考え方と共に、質問に対して以下のような回答がありました。

Q：個別適用事由に「自治会等が総会・役員会等の会議で使用するときには免除」と記載されているが、なぜ特に自治会の会議が免除になるのか？

A：すべての自治会の活動が免除対象になるのではなく、市からの依頼を受けた事項を処理するために会議を開催する場合は、共通適用事由①に規定する「本市及び本市の機関が主催又は共催するとき」と同等の公益性をもつものと考えられるから、自治会は例示であり、基本は共通適用事由①の規定による。

Q：「受託団体」には、指定管理者も含まれるか？

A：指定管理者も「受託団体」になり得る。

Q：メイシアターについては、参加者から金銭の受け取りがなければ減免になると聞いているが？

A：2013年3月に条例改正し、減免ではなく、2段階の使用料規定になった。「入場料その他これに類するものを徴収しないときは、・・・5割の使用料を徴収する。」

Q：「施設使用料に係る減免基準の統一化」について市民への周知が不足しているのでは？

A：平成24年3月、5月、9月の市議会に、都度その時点の案を参考資料として提出し、市報にも掲載したほか、各施設にも掲示を依頼している。

Q：公共施設の使用料のように市民に影響が大きい施策を決める時は、企画検討段階から市民の参画を保障すべきではないか？

A：施設ごとにアンケートを取っている。

行政の財政健全化も必要ですが、今後は「新しい公共」の理念に基づき、市民や市民活動団体が公益性を持つ事業を進んで行うことが重要になります。自治会のように行政からの依頼によって活動する団体に免除があり、公益性のある事業・活動を自ら進んで行う市民活動団体には免除適用に制限があるのは時代に逆行します。行政としては、むしろこうした市民力を推進する施策を採るべきで、ただ財政改善のためだけに減免制度を廃止してしまい大きな損失ではないのかと提案をしました。

しかし、この「施設使用料に係る減免基準の統一化」を変更することはできないという見解でした。今回の減免基準の統一化には、まだ不明瞭な部分がありますが、市民活動団体は、行政と協働する公益性のある事業で会議等の会場を使用する場合、協働事業の所管室課から手配して頂くことで施設使用料は免除となることが、今回の話し合いで明らかになりました。

会員募集

NPO法人 市民ネットすいた

市民公益活動の促進を目指す方々を求めています。

年会費	○正会員	個人	3,000円
	○賛助会員	個人1口	1,000円
		団体1口	10,000円

入会申込は、FAX 06-6875-7461

又は E-mail mail@cnsuita.com まで

「市民協働学習センター」 8年の歩み

市民協働学習センター
運営委員会副委員長
学塾部会長 石橋 恒彦



標記の運営等準備委員会が、市長の肝いりでスタートしたのが平成18年。谷川委員長のもと、学塾部会長を拝命し、交流部会・情報部会の3部門で発足。学塾部会は、市政全般の仕組みを各分野の市職員から学ぶ「入門講座」と、受講生がいろいろな角度から吹田のまちを調査研究し、その成果を発表する「応用講座」に分かれる。文字どおり矢のように過ぎた8年間だったが、私自身非常に勉強できた



北詰先生の応用講座基調講演

に勉強できたし、受講生の皆様にもご満足いただけたのではないかと、ひそかに自負している。この8年間で振り返って心に残ったことを、3点挙げれば、第1は、吹田が他市に比べいかに特色のある町か、交通の便・医療機関の充実・大学の町・その他たくさん。第2は、バラエティに富んだ異なる文化圏の集合体であること、JR以南の旧吹田村地域・先進副都心的な江坂垂水地区・古い歴史がそれぞれ色濃く残る岸部(吉志部)地区・山田地区・佐井寺地区・広大なニュータウン地区・万博公園と阪大周辺、こんな町を私は知らない。第3はいかに住み良い、終の棲家にふさわしい町か。物価が安く、市の施設の利用・各種手数料も他市に比べ安価、これら3点は、この講座を主催しながら、自分なりに勉強し印象に残った点だ。今年25年度の応用講座は「吹田の宝を活かしたまちづくり」がテーマ。いろいろな角度からの勉強、受講生も真剣そのもの、こんな市民参加の勉強会が他市にはない。地味だけれども「わが町すいた」を心から愛する市民の皆さんと、終始ご指導頂く関西大学の北詰先生の支えあってこそと、心から感謝しています。

10年目を迎えた千里竹の会

千里竹の会
代表 木村 凡之



千里竹の会は、発足して今年11月で10年目を迎えるボランティア団体ですが、私が入会したのは、その年の暮れ頃だったと記憶しています。

会の主な活動場所は、吹田市の桃山公園と、豊中市の東町公園の竹林部分ですが、私が入会した当時の竹林は、荒れ果てた竹藪で、自動車のタイヤや壊れたテレビなどの生活ゴミが方々に捨ててあり、また枯れた竹が、足場もないほど倒れていました。

会の主な目的は、千里ニュータウンの竹を守ることや竹細工、竹イベントなど竹にまつわる文化の発展に尽くすことですが、竹林では、皆さん汗を流すことを楽しみに活動されています。ある人は、スポーツジムで汗を流すより、竹林で目の前の池や鳥を見ながら、仲間とワイワイ、ガヤガヤと時間を過ごす方がストレス解消にもなり、一日が楽しいと言われています。また、近隣の道を行き交う人から、「美しくなりましたね。」と感謝の言葉をかけられると、嬉しくなります。

竹林の活動日は、週に2回午後1時半から2時間ですが、その他竹細工は、月2回～3回、竹炭・竹酢液づくりも北千里高校で月2回活動していますので、会員の皆さんは、好きなところでそれぞれ活動を楽しまれています。また年末には、吹田市役所の玄関に大きな門松をつくること、その他吹田市のボランティアフェスティバルや浜屋敷での催しにも参加しています。健康づくりと地域の美化活動に、ぜひ、「千里竹の会」の門を叩いてください。お待ちしております。



医薬品開発を支える 治験業界のパイオニア

インクロム株式会社
代表取締役社長
金田 仁二郎



病気やケガをしたときに何気なく使っていた薬が、たくさんの人の協力によって完成したのだと思うと、治験を少しは身近に感じていただけるのではないのでしょうか。

治験とは、新薬の製造・販売承認を受ける前にボランティアの方々（被験者）に開発中の薬を服用していただき、効果や安全性を確認するために行われる臨床試験のことで、薬の開発にはなくてはならないものです。

近年、高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の治療薬開発が進んできたのも治験のお蔭であり、闘病中の人だからこそできるボランティア活動とも言えます。

治療薬の開発には、このように多くの人に支えられていることをもっともっと多くの人に知ってもらいたいと考えています。

弊社も多くの人に支えられて成り立っています。そのようなことから少しでも地元貢献したいと考え地域団体である「千里新田地区まちづくり協議会」に加入しました。今年の協議会主催の小学校での夏祭りには、弊社マスコットキャラクター「神農さま」を繰り出したところ子どもたちから大変な人気でした。もう来年の企画をしているところです。

地域活動への歩みは緒に就いたばかりですが、「NPO 市民ネットすいた」が運営するラコルタのように多くの人が集い、親しまれ、頼られる活動を目指していきたいと考えます。

弊社ホームページおよび治験に係るお問い合わせは
<http://www.196189.com/> TEL：0120-196-189



私共の社会貢献活動

株式会社ミルフィーユ
代表取締役

野村 信希



平成25年11月11日で吹田市五月が丘にお店をオープンして以来、満26年が経ちました。おかげさまで、現在吹田市に2店舗の他、北摂エリアなど6店舗を営業させていただいております。ひとえに地域の皆様のおかげと心より感謝いたします。

私共のできる一番の社会貢献は、しっかり働いてしっかり納税することに尽きると考えております。以前大変お世話になった恩ある方から「戦争でたくさんの仲間を無くし復員後の焼け野原に生き残った我々にできることはしっかり働いてしっかり納税し、日本国の復興をすることだ。」と教えられました。その言葉に感銘を受け、それ以来その教えのとおり実直に働いてきました。これからもそうしてまいります。東北復興中の道半ばの今、当社で働く若い人たちにもそのことを伝えていきたいと考えています。

地域貢献としましては、地元中学校の生徒さんの職業体験の受け入れを積極的に行い、次代を担う若者たちに働く事の尊さを教えていきたいと考えております。

ほぼ毎月のようにやってくるキラキラと輝く中学生の瞳を見ると、こちら元気をもらい勤労に対する意欲が湧いてきます。

また、吹田市産業フェアのコンサートの提供などの協力は今後もさせていただきます。

私は今、目の前のことに一生懸命打ち込み働くことが何よりの社会貢献と信じ、微力ながら実践し続けていきたいと考えております。



北摂支援センター交流会報告

9月13日(金)、CNS主催で「第6回北摂地域市民活動支援センター交流会」をラコルタで開催しました。この交流会は、2008年度から毎年1回、北摂7市の市民活動支援センターが持ち回りで開催しています。

その主な目的は、次の通りです。

- (1) 北摂地域の各市民活動支援センターが直面している重要課題について、各組織の経験から相互に学ぶ。
- (2) 他市センターの見学を兼ねて、相互連携の機会をつくる。

今回は、施設見学、意見交換会、ドキュメンタリー映画『ワーカーズ』上映の3部構成で実施しました。

意見交換会には7市から23名の方が参加されました。吹田市地域自治推進室から伊藤主幹に参加い

ただきました。まず、「吹田市のボランティアグループ・NPO実態調査結果から中間支援組織の未来を考える」というテーマでCNSから話題提供を行い、主に下記の内容で真剣な経験交流、意見交換が行われました。

- ・市民公益活動団体調査の方法について：行政とNPOの協働型は、調査票回収率向上や調査結果の活用の面でも効果的。
- ・調査結果の有効活用について：調査報告書を共通材料に市民や市民公益活動団体と直接意見交換することが必要。
- ・市民公益活動団体の連携強化について：横のつながりを持たずに行政の担当課だけでつながっているため、団体同士の連携が少ない。
- ・市民公益活動促進補助金制度の効果的な運営について：制度の周知や事業企画段階から実施段階に至る支援などが必要。

東日本大震災復興支援チャリティイベントを開催しました

11月10日(日)、復興支援すいた市民会議とラコルタ共催で、

- 「チームおせっかい」による学習サポート・芋煮のふるまい、■ チャリティライブ
- 子育てママの防災講座 ■ 宮城県・福島県支援先視察の現状報告会 ■ おのくん里親募集ブース
- 記録写真集展示 ■ 福島の砂の放射性物質検査報告(吹田地学会 秋元さん)
- 東北物産展(ガーネットみやぎ、大阪学院大学支援先物産、グーチョキパン屋さん、HAPPY&SMILE)
- パネル展示(大阪学院大学生ボランティア活動報告、三陸新報報道写真、保養キャンプ、支援先視察報告パネル)など、ラコルタの全スペースを使って開催しました。



編集後記・JR吹田駅から岸辺、千里丘にかけての操車場跡地が「医療健康教育文化創生ゾーン」となり、数年後のまちの未来図は変わろうとしています。・今号は1面で前号でも紹介しました施設使用料減免基準の経過報告。2、3面では連載の会員紹介をしています。・市民ネットすいたの会員募集は常時続けています。皆様ぜひご入会を！・市民誰もが利用できるラコルタは、9月から2年目に入りました。皆様のますますのご利用をお待ちしています。

CNSuita ニュース

NPO法人 市民ネットすいた

ホームページ [市民ネットすいた](#) も検索ください

事務局 〒565-0862 吹田市津雲台1-2-1
千里ニュータウンプラザ6階

TEL 06-6875-7459

FAX 06-6875-7461

E-MAIL mail@cnsuita.com

情報のご提供、ご意見などお寄せください。